

第一回地域連携推進会議

議事録

令和7年11月24日

参加者：利用者家族代表 1名
福祉に知見のある方 1名
行政職員 1名
地域の関係者 1名
利用者代表 3名

事業者側参加者

伊自良苑：3名 同朋会ケアホーム：1名 桜美寮：4名

※レジュメ・参考資料別紙参照

9：05 開会

趣旨・日程説明

委嘱状受け渡し

9：30 同朋会ケアホーム4棟・桜美寮・伊自良苑見学

事業所内を見学し委員の方々が利用者さんから話を聞き交流を行う。

職員の配置や1日の流れ、建物の構造等の説明を行った。

11：25 各事業所からの現状説明

同朋会ケアホーム→生活の家桜美寮→伊自良苑

11：45 質疑応答・意見交換

行政職員：詳しく建物の中見るのは初めてだった。施設からGHへの移行が取り組まれている。障害分野は職員の頑張りがとてもある。

知見のある方：利用者の方が落ち着いていた。強度行動障害の方の意思決定支援等は課題がある中で前向きに取り組んでいると感じた。

家族代表：知らない人が来るとパニックになる事が多いが利用者の方が落ち着いていた。強度行動障害の方が思った以上に多くで驚いた。

地域代表：以前よりも利用者の方が生き生きして生活をしており雰囲気がとてもよかった。

利用者①：いろんな方がおり沢山学ばせていただいた。

利用者②：ワークスでいろいろな作業を行っています。

利用者③：色々なところを見学できて楽しかった。また行きたい。

知見のある方：利用者の高齢化対策、外国人材について教えていただきたい。

事業所職員①：高齢化については、嚥下機能の低下についてが多職種連携を行いながら試行錯誤している。これからどう学んでいくかが大事。

外国人について、法人で導入していく当初はイメージできなかったが法人内の他事業所でのモデルから参考にし3年前に採用開始。今年度から正規職員として雇用を始めたがとれも勉強熱心で真面目であるため順調にいらっていると思う。

事業所職員②：介護について、入浴は特浴を使用しているのは5.6人。排泄介護に関してもおむつが必要な方が何人もいらっしゃる。歩行についても不安定な方が増えている。歩行器、立位補助具、スライディングボード、おむつのサイズ等

行政職員：利用者、家族への地域移行の確認・法人内の利用者さんの施設移動に関して話し合い。職員の異動や配置に関して

事業所職員③：利用者さんは長期利用している方に関しては、伊自良苑から桜美寮をまず考えている。桜美寮は高齢化を考えた構造になっている。職員に関しても介護技術の取得も必要なため桜美寮への移動を行う等分野を超えた法人内移動も行っている。他事業所で夜間就労が難しくなった職員に対しても日中支援中心の事業所に移動を図る等試行錯誤を行っている。意思確認・決定支援に関しては、ニーズを表明したり・可能ではないかと思った利用者さんに対し職員から話を持って行ったが、今後は全利用者に対して聞き取りを行う必要があるため確実に実施していく。中にはコミュニケーションが難しい方も見えるため様々な方法で意思確認を行っていく。

家族代表：利用者さんの状況を見ながら判断するのがよいのではないかと個人的には反対。

事業所職員④：以前のように地域の方と交流を持てる機会があれば施設側としてはありがたいと思っている。今回の会議はそのとっかかりになればと思う。

家族代表：利用者さんが参加してくれたことがとてもびっくりした

12：30 閉会

次回：令和8年9月23日（水）予定

次回議題案 防災関係について